

Portable MiniDisc Recorder

取扱説明書

JP

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ
さい。

使用説明書

CT

사용 설명서

KR



MZ-R90 MZ-R91

主な特長

本機は、ソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクレコーダーです。

- 再生専用MDウォークマン並みの超小型ボディに、録音機能を凝縮ポケットやバッグに入る携帯に便利なサイズ・軽さの、録音機能付きMDウォークマンです。
- マグネシウムを上蓋部に採用した軽量ボディ (MZ-R90)
- ファッショナブルなデザイン&カラーの小型ボディ (MZ-R91)
- 省電力設計によるロングバッテリーライフを実現
- MD編集ができる新開発の9文字対応、光る液晶リモコン
簡単操作のスマート・スティック・コントローラーリモコンで、曲名や、ディスク名を入力したり、曲順を変えるなどの編集操作が、簡単にできます。
- 録音しながら文字入力ができる、「ながら入力機能」搭載
MDを録音中に、曲名やディスク名が入力できて便利です。
- ネームバンク機能
曲名・ディスク名としてよく入力する言葉を、あらかじめ登録しておくことができます。
- CDから曲名を記録できるジョイントテキスト機能
別売りのCDテキスト接続コードを使ってCDウォークマン(ジョイントテキスト対応機種)と接続し、録音と同時にCDテキストの情報を記録することができます(ジョイントテキスト対応機種、CDテキスト対応のCD使用時のみ)。
- 約40秒の長時間音飛びガードメモリ搭載

- 高音質の録音
光デジタル入力端子からの録音によりノイズやひずみの少ない高音質の音楽を楽しめます。
- デジタルシンクロ録音
光デジタル出力があるデジタル機器とつないで録音するとき、再生機側の操作に合わせて、録音開始や一時停止を自動で行います。
- デジタルRECレベルコントロール機能を搭載
- モノラルモードでの長時間録音
最大160分まで録音ができます(80分ディスク使用時のみ)。
- デート機能
録音した日時を自動的に記録します。
- デジタルAGC搭載
デジタルならではの音のクオリティを維持しながら、録音時のわずらわしいレベル設定を自動的に行います。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

MD WALKMANは、ソニー株式会社の商標です。

この取扱説明書はMZ-R90、MZ-R91の2機種に共通です。

☺ は知っていると便利な情報のマークです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターや充電器のプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電器などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜く
- ② お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

JP

目次

 警告 ・  注意	5
各部のなまえ	8
録音する	10
再生する	11
<hr/>	
いろいろな録音のしかた	13
録音もとの機器との2種類のつなぎかた （光デジタル入力とアナログ入力）	13
デジタル入力で録音する（光デジタルケーブルが必要）	14
再生側に合わせて録音を始める / 止める（シンクロ録音）	14
マイクで録音する	15
長時間録音する（モノラル録音）	15
手で録音レベルを調節する（マニュアル録音）	16
録音日時を記録する（時計合わせ）	16
CDの曲名などを記録しながら録音する（ジョイントテキスト機能） ..	17
<hr/>	
いろいろな再生のしかた	19
くりかえし聞く（リピート再生）	19
お手持ちのシステムで聞く（LINE OUT）	19
<hr/>	
編集する	20
曲を消す	20
1曲を消す	20
全曲を消す	20
頭出しマーク（曲番）をつける	21
頭出しマーク（曲番）を消す	21
曲順を変える（ムーブ）	21
本体で操作する	21
リモコンで操作する	22
曲名やディスク名をつける	22
本体で操作する	22
リモコンで操作する	23
よく使う言葉を登録する（ネームバンク機能）	25
本体で操作する	25
リモコンで操作する	26
<hr/>	
電源について	28
ニッケル水素電池で使う	28
充電する	28
ニッケル水素電池で使う	28
乾電池で使う	29
<hr/>	
その他	30
メッセージ一覧	30



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**
により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



接触禁止

指定以外の充電器やACパワーアダプター、
カーバッテリーコードなどを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない

感電の原因となることがあります。



接触禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



禁止

通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド
(Ni-Cd)

ニッケル水素
(Ni-MH)

リチウムイオン
(Li-ion)

乾電池
アルカリ
マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

危険 (この項目は充電式電池のみ適用となります)

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- リチウムイオン電池は火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い

使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

お使いになる前に

(英文取扱説明書3ページのイラスト参照)

この取扱説明書はMZ-R90、MZ-R91の2機種に共通です

取扱説明書中のイラストはMZ-R90を使用していますが、操作方法や使用するボタンなどは2機種に共通しています。

ジョグレバーの使いかた

本機では、ジョグレバーを使って停止時、録音時、再生時、編集時に様々な操作をすることができます。ジョグレバーを動かして、本体の表示窓に表示される項目を選択し、押して選択した項目を確認します。

本機の○/LINE OUTジャックについて

○/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定には「HeadPhone」と「LINE OUT」があります。別売りのヘッドホンを使うときは「HeadPhone」に設定し、お手持ちの機器などつなぐときは「LINE OUT」に設定します。付属のヘッドホンを使うときは設定が自動的に「HeadPhone」になりますので設定する必要はありません。

○/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定をするには、つぎの操作を行ってください。

- 1 ジョグレバーを押し、動かして「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度ジョグレバーを押す。

- 2 ジョグレバーを動かして「HeadPhone」または「LINE OUT」を点滅させる。
- 3 ジョグレバーを押す。

ご注意

- /LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定が、「LINE OUT」になっていると、VOL +/-ボタンで音量を調節したり、デジタルメガベースを設定することができなくなります。この場合は設定を「HeadPhone」に直してください。
- 電源が切れると○/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定は自動的に「HeadPhone」に変わります。

各部のなまえ

(英文取扱説明書52～54ページのイラスト参照)

本体

- 1 ■(停止)/CHARGEボタン
- 2 表示窓
- 3 RECランプ
- 4 DC IN 3Vジャック(背面)
- 5 ジョグレバー
- 6 ○/LINE OUT ジャック
- 7 MIC (PLUG IN POWER) ジャック
- 8 LINE IN (OPTICAL) ジャック
- 9 HOLD スイッチ
右にずらすと本体のボタンがきかなくなり、本体の誤動作を防ぎます。
- 10 ►(再生)ボタン
- 11 ■■(一時停止)ボタン
- 12 T MARK ボタン
- 13 RECスイッチ
- 14 電池入れ(背面)

- 15 VOL (音量) +/- ボタン
- 16 OPEN スイッチ
- 17 END SEARCH ボタン
- 18 ◀◀ (頭出し、早戻し)/▶▶ (頭出し、早送り) ボタン
- 19 SYNCHRO REC ON/OFF スイッチ

表示窓

- 1 文字情報表示部
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。
- 2 モノラル表示
- 3 ディスクネームマーク/トラックネームマーク
曲名やディスク名をつけるときに表示されます。
- 4 再生状態表示
ディスクの再生状態を表示します。
◀ (全曲リピート): ディスクの全曲をくり返し再生します。
◀1 (1曲リピート): 再生中の曲をくり返し再生します。
◀SHUF (シャッフルリピート): 全曲を順不同にくり返し再生します。
- 5 シンクロ録音表示
シンクロ録音時に表示されます。
- 6 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。
- 7 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- 8 メガベース表示
- 9 電池残量表示
充電電池や乾電池の残量を表示します。
- 10 REMAIN表示
ディスクの残り曲数、ディスクや曲の残り時間を表示していることを示します。
- 11 REC DATE表示
表示窓に録音日時が出ているときに表示されます。
- 12 時刻/時間表示
録音時刻、現在時刻、曲の再生時間、曲やディスクの残り時間を示します。
- 13 レベル表示
録音時には入力レベルを、再生時には再生音のレベルを表示します。
- 14 午前/午後表示
時刻が12時間表示のときに表示されます。

リモコン部

- 1 ヘッドホン
別売りのヘッドホンに付け替えます。
- 2 ■(停止)ボタン
- 3 つまみ
停止中に▶●▶▶側に押すと再生、再生中に▶●▶▶側に押すと頭出し、押したままにすると早送り、再生中に◀◀側に押すと頭出し、押したままにすると早戻しとなります。
- 4 HOLDスイッチ
リモコンのボタンが動かなくなり、リモコンの誤動作を防ぎます。
- 5 ■(一時停止)ボタン
- 6 PLAY MODEボタン
- 7 DISPLAYボタン
- 8 VOL(音量) +/- ボタン
- 9 表示窓

録音する

(英文取扱説明書6、7ページのイラスト参照)

録音する音はアナログ信号で送られますが、ディスクにはデジタル方式で記録されます。また、録音はステレオ録音になります。デジタル機器につないで録音するときは、「デジタル入力で録音する」(14ページ)をご覧ください。

1 つなく。(コード類をつなぐときは、奥までしっかりと差し込んでください)

- ① 本機のLINE IN (OPTICAL)ジャックと、録音もとの機器の出力(アナログ)ジャックを接続コードRK-G129(別売り)などでつなく。

ステレオミニジャックのある機器と接続するときは、接続コードRK-G136(別売り)をお使いください。

入力は自動的にアナログになります。

- ② ACパワーアダプター(付属)を本機のDC IN 3Vジャックとコンセントにつなく。

2 録音用ミニディスクを入れる。

- ① OPENスイッチを右にずらす。
- ② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。

3 録音する。

- ① RECスイッチを右にずらす。
「REC」表示が点灯し、録音が始まります。録音される音の大きさは自動的に調節されます。
- ② 録音したいCDやテープを再生する。

止めるには、■ボタンを押す。

ボタンを押してから、電池使用時は約10秒後、ACパワーアダプター使用時は約5分後に、自動的に電源が切れます。

ご注意

- 「Data Save」「TOC Edit」表示が点滅し、録音した曲の情報(曲の開始・終了位置など)をディスクに記録します。表示の点滅中は、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。
- 録音終了後、「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。

こんなときは	操作
録音済み部分の後ろに新しい録音をする	END SEARCHを押してからRECスイッチを右にずらす
録音した内容の途中から新しく録音する	▶、▶▶または◀◀を押して録音を始めたい位置で■を押す。次にRECスイッチを右にずらす
一時停止する	■を押す ¹⁾ もう一度押すと一時停止は解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから本体のOPENスイッチを押してふたを開ける ²⁾

¹⁾ 一時停止を解除したところで曲番(頭出しマーク)が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

²⁾ ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります。

録音が始められないときは

- ホールド機能が働いていませんか。HOLDスイッチを矢印と逆方向にずらしてください。
- ディスクが誤消去防止の状態になっていませんか。誤消去防止つまみをずらして穴を閉じてから使います。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

ご注意

録音中や編集集中、また、その後■ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまでに電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。

再生する

(英文取扱説明書9、10ページのイラスト参照)

充電式電池、乾電池でも使えます(28、29ページ)

1 つなぐ。(コード類をつなぐときは奥までしっかりと差し込んでください)

- ① ACパワーアダプター(付属)を本機のDC IN 3Vジャックとコンセントにつなぐ。
- ② リモコン付きヘッドホン(付属)をφ/LINE OUTジャックにつなぐ。

2 ミニディスクを入れる。

- ① OPENスイッチを右にずらす。
- ② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。

3 聞く。

- ① ▶ボタンを押す。(リモコンではつまみを▶▶▶側に押す)
リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。
- ② VOL +/- ボタンを押して音量を調節する。
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、■ボタンを押す。

リモコンで操作すると「ピー」と確認音がします。

次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。

ボタンを押してから、電池使用時は約10秒後、ACパワーアダプター使用時は約5分後に、自動的に電源が切れます。

こんなときは	操作(リモコンの確認音)
今聞いている曲を頭出しする	◀◀◀を短く押す リモコンではつまみを◀◀◀側に押す(ビビビ)
次の曲を頭出しする	▶▶▶を短く押す リモコンではつまみを▶▶▶側に押す(ビビ)
再生しながら早戻しする ¹⁾	◀◀◀を押したままにする リモコンではつまみを◀◀◀側に押したままにする
再生しながら早送りする ¹⁾	▶▶▶を押したままにする リモコンではつまみを▶▶▶側に押したままにする
一時停止する	⏸を押す(ビ・ビ・ビ) もう一度押すと一時停止は解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENスイッチを右にずらしてふたを開ける ²⁾

¹⁾ 一時停止(⏸)して◀◀◀または▶▶▶を(リモコンではつまみを◀◀◀または▶▶▶側に)押したままにすると、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。

²⁾ ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは

ホールド機能が働いていませんか。HOLDスイッチを矢印と逆方向にずらしてください。

別売りのヘッドホンを使う場合は

- ステレオミニプラグのものをお使いください。アラカルトヘッドホン(マイクロプラグ)は使えません。
- VOL +/- ボタンで音量の調節ができなくなったり、ジョグレバーでデジタルメガベースの選択ができなくなることがあります。音量の調節や、デジタルメガベースの選択をできるようにするには次の操作を行ってください。

1 ジョグレバーを押し、動かして「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度押す。

「LINE OUT」が点滅します。

2 ジョグレバーを動かして「HeadPhone」を点滅させる。

3 ジョグレバーを押す。

ご注意

- ジョギング中など、連続的な振動が加わる状況で使用すると、再生中に音飛びすることがあります。
- 動作中に電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたが開かないことがあります。

▶いろいろな録音のしかた

録音もとの機器との2種類のつなぎかた

(光デジタル入力とアナログ入力)

本機をCDプレーヤーやラジカセなど録音もとの機器とつなぐには、光デジタル入力を使うつなぎかたとアナログ入力(LINE IN)を使うつなぎかたの2つの方法があります。それぞれの録音のしかたは、光デジタル入力を使うときは「デジタル入力で録音する」(14ページ)、アナログ入力(LINE IN)を使うときは「録音する」(10ページ)をご覧ください。

光デジタル入力とアナログ入力の比較

相違点	入力の種類	光デジタル入力	アナログ入力(LINE IN)
つなぐことができる機器		光デジタル出力ジャックのある機器	出力(LINE OUT)ジャックのある機器
使用するコード		光デジタルケーブル(角形プラグまたはミニプラグ)	接続コード(ピンプラグまたはステレオミニプラグ)
録音もとから送られる信号		デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もともとしても、本機にはアナログ信号として送られる。
録音の結果	マーク(曲番)	<ul style="list-style-type: none">録音もと同じ場所に自動的につく。2秒以上の無音や小さな音が続いた場所につく*。録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください(「頭出しマーク(曲番)を消す」21ページ)	<ul style="list-style-type: none">2秒以上の無音や小さな音が続いた場所につく。録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください(「頭出しマーク(曲番)を消す」21ページ)。
	録音される音の大きさ	録音もと同じ。 手動でも調節できます(デジタルRECレベルコントロール)(「手動で録音レベルを調節する」16ページ)。	自動調節される。 手動でも調節できます(「手動で録音レベルを調節する」16ページ)。

* 音源がCDやMDの場合は、無音部分に関係なく音源のCDやMDと同じ曲番が自動的につきます。ご注意ください

次のような場合は、録音もと同じ場所に曲番が記録されないことがあります。

- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合(このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。)
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

デジタル入力で録音する (光デジタルケーブルが必要)

(英文取扱説明書13ページのイラスト参照)

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、光デジタル出力のあるDATデッキやBSチューナーなど、サンプリング周波数の違うデジタル機器と光デジタルケーブルでつなぐとデジタル録音できます。

- 1 本機のLINE IN(OPTICAL)ジャックと、録音もとの機器の光デジタル出力ジャックを光デジタル接続ケーブル(別売り)でつなぐ。入力は自動的にデジタルになります。
- 2 電源をつなぐ。
家庭用電源を使うときは、「録音する」(10ページ) その他の電源については「電源について」(28、29ページ)をご覧ください。
- 3 録音用ミニディスクを入れ、録音を始める。
録音の操作は「録音する」(10ページ)を参照してください。ポータブルCDプレーヤーから録音するときは、CDプレーヤーを一時停止してから録音の操作をしてください。

止めるには、■ボタンを押す。

ご注意

- ・光(OPTICAL)タイプ以外のデジタル出力にはつなぐことはできません。

- ・ポータブルCDプレーヤーから録音するときには
 - ACパワーアダプター電源でないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。
 - ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
 - 音飛びガード機能(ESPなど)は「切」にしてください。

再生側に合わせて録音を始める / 止める

(シンクロ録音)

(英文取扱説明書14ページのイラスト参照)

録音もとの本機のそれぞれを操作する時間を省き、簡単に録音できます。

録音を始める前に、光デジタルケーブルを使って本機と録音もとのデジタル機器をつなぎ、録音用ミニディスクを入れてください。

- 1 SYNCHRO RECスイッチをONにする。
「SYNC」が表示されます。
光デジタルケーブルが本機につながれていないと「SYNC」は表示されません。
- 2 RECスイッチを右にずらす。
録音一時停止になります。
- 3 録音もとの機器の再生を始める。
再生側の音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

止めるには、■ボタンを押す。

ご注意

- 手順3の後では、SYNCHRO RECスイッチを切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- モノラル録音するときは、「長時間録音する」(このページ)の手順1と2を行ってからシンクロ録音を行ってください。
- シンクロ録音中に録音もとの無音状態が続いても、録音もとのノイズレベルが原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- シンクロ録音中に、録音もとの同一曲内で無音部分が2秒以上続くと、曲番が1つ増えてしまいます。
- MIC(PLUG IN POWER)ジャックを使用したり、光デジタルケーブル以外のケーブルを使用した場合は、シンクロ録音できません。

マイクで録音する

(英文取扱説明書15ページのイラスト参照)

- 1 マイクをMIC(PLUG IN POWER)ジャックにつなぐ。
ステレオマイクECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957など(別売り)をお使いください。
- 2 録音用ミニディスクを入れる。
OPENスイッチを右にずらし、ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。
- 3 RECスイッチを右にずらして録音を始める。
「REC」表示が点灯し、録音が始まります。

止めるには、■ボタンを押す。

ご注意

- 光デジタルケーブルがLINE IN (OPTICAL) ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。

長時間録音する

(モノラル録音)

(英文取扱説明書15ページのイラスト参照)

録音を始める前に、録音もとの機器と電源に接続し、録音用ミニディスクを入れてください。

- 1 ■ボタンを押しながらRECスイッチを右にずらし、録音一時停止にする。
- 2 ジョグレバーを押し、動かして「REC MODE」を点滅させ、もう一度押す。
- 3 ジョグレバーを動かして「MonoREC」を点滅させ、押す。
ステレオ録音に戻すには、「Stereo REC」を点滅させて押します。
- 4 ■ボタンを押して録音を始める。
- 5 録音する音を出す。

止めるには、■ボタンを押す。
次に録音するときはステレオ録音に戻ります。

ご注意

- ステレオで送られる音をモノラルで録音すると、左右のチャンネルの音がミックスして録音されます。

- 光デジタル入力から録音する場合はシンクロ録音を「OFF」にしてから操作を始めてください。「ON」になっているとモノラル録音できません。
- 本機でモノラル録音した内容は、他のモノラル再生に対応していない機器では再生できません。
- 光デジタル入力で録音中の音は、 ϕ /LINE OUTジャックからステレオ音声で出力されます。

手動で録音レベルを調節する (マニュアル録音)

(英文取扱説明書16、17ページのイラスト参照)

録音するときは、録音レベルは最適な値になるように自動的に調節されますが、必要に応じて手動で調整できます。

- 1 ■ボタンを押しながら、RECスイッチを右にずらす。
録音一時停止になります。
- 2 ジョグレバーを押し、動かして「RecVolume」を点滅させ、もう一度押す。
- 3 ジョグレバーを動かして、「ManualREC」を点滅させ、押す。
自動調節に戻すときは、ジョグレバーを動かし、「Auto REC」を点滅させて押します。
- 4 録音したい音を出す。

- 5 表示窓を見ながらジョグレバーを動かすか、◀◀(-) / ▶▶(+)
ボタンを繰り返し押しして録音レベルを調節する。

録音レベルは、レベル表示のバーが、表示窓の下にある—(-12dB)マーク付近で点灯するように調節します。

大きな音が入ったときに、レベル表示のバーが表示の窓の下にある—(OVER)マークのところまで点灯する場合は、録音レベルを下げてください。

- 6 ■ボタンを押して録音を始める。
手順5では録音は始まっていません。他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

止めるには、■ボタンを押す。
次に録音するときは、自動レベル調節に戻ります。

ご注意
録音中は手動で録音レベルの調節をすることはできません。録音レベルの調節をするときは、■ボタンを押して録音一時停止にしてから手順5、6を行ってください。

録音日時を記録する

(時計合わせ)

(英文取扱説明書20ページのイラスト参照)

時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。録音日時は、一度時計を合わせると常に記録されるようになります。録音日時を記録しないときは、この操作は不要です。

- 1 付属のACパワーアダプターをつなく。
- 2 停止中またはディスクが入っていない状態で、ジョグレバーを押す。
- 3 ジョグレバーを動かして「CLOCK SET」を点滅させ、押す。
西暦年の数字が点滅します。
- 4 ジョグレバーを動かして年を合わせ、押す。
月の数字が点滅します。
- 5 手順4をくりかえして月、日、時、分を合わせる。
分を合わせてジョグレバーを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

■ボタンを押し、もう一度手順2からやり直してください。変更する必要のない数字はジョグレバーを押して先に進めません。

現在の日時を表示するには

停止中または録音中に、ジョグレバーを押し、動かして「DISPLAY」を表示させ、もう一度ジョグレバーを押します。ジョグレバーを動かして「CLOCK」を点滅させ、押すと現在の日時が表示されます。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中に、■ボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

本体内蔵の時計用電源を充電してください

初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵の時計用電源を充電してください。ACパワーアダプターを約2時間コンセントにつないだままにして充電します。(その間も本機をお使いになれます。)その後は、コンセントや充電式電池、乾電池のいずれかの電源が見つからないであれば、自動的に充電されるのであらためて充電する必要はありません。電源がなくても、時計用電源は約1か月間持続します。

CDの曲名などを記録しながら録音する


(ジョイントテキスト機能)(CDテキスト接続ケーブル、CDテキスト対応CDとジョイントテキスト対応CDウォークマンが必要)

(英文取扱説明書21ページのイラスト参照)

ジョイントテキスト機能対応のソニー製CDウォークマン(D-E01*)から、CDテキスト対応のCDを光デジタル入力で録音するときに、本機とCDウォークマンをさらにCDテキスト接続ケーブルRK-TXT1(別売り)を使って下図のようにつなぐと、録音と同時にディスク名、曲名などの情報をMDに記録できます。

* 日本国内でのみ、お買い求めになれます。海外では、D-EJ01(ジョイントテキスト機能対応)をお買い求めください。

- 1 本機のRECスイッチの中央のボタンを押したまま右にずらして録音を始め、CDウォークマンの再生を始める。

「SYNC」、 「REC」、 「」が点灯し、「CD TEXT」と数秒間表示されたあと、「001(録音中の曲の曲番) TEXT?」と「PushENTER」が交互に表示されます。

録音中の曲に曲名情報がないときは、「NO TEXT」と表示され、その曲の曲名情報は記録されません。

- 2 ジョグレバーを押す。


曲名がスクロールして表示されたあと、曲名と「PushENTER」が交互に表示されます。

- 3 ジョグレバーを押す。

曲名がMDに記録され、スクロールして表示されます。

- 4 曲が変わるごとに、上記の手順2と3を繰り返して曲名を記録する。

- 5 録音を終わりたいところで本機の■ボタンを押す。

「」が点灯し、「000 TEXT?」と「PushENTER」が交互に表示されます。

ディスク名情報を記録したくない場合は、もう一度■ボタンを押すと、ディスク名を記録せずに終了します。

ディスク名情報がないときは、「NO TEXT」と表示され、終了します。

- 6 ジョグレバーを押す。

ディスク名がスクロールして表示されたあと、ディスク名と

「PushENTER」が交互に表示されます。

- 7 ジョグレバーを押す。

「TOC Edit」が点滅し、記録されたディスク名がスクロールして表示されます。

ご注意

- すでに名前が付いているディスクにディスク名情報を記録すると、ディスク名は上書きされます。
 - ジョイントテキスト機能(CDの曲名などの情報を記録しながら録音する機能)が働いているときは、ジョグレバーを使つての様々な機能の設定や編集操作ができなくなります。
 - ジョイントテキスト機能はポータブルCDプレーヤー(D-E01*)にのみ対応しています。
 - CDソフトは「CD TEXT」対応のもののみ有効です。
 - CDテキスト接続ケーブルは専用のケーブル(RK-TXT1)を使用し、本機とD-E01*以外にはつながらないください。
 - 本機にCDテキスト接続ケーブルRK-TXT1をつないでいるときは、本機のリモコンからの操作はできません。
 - 録音中にCDウォークマンを停止または再生一時停止にすると、本機は自動的に録音一時停止状態になります。録音を再開した場所には頭出しマーク(曲番)が自動的に付きます。
 - 録音中の曲の曲名を記録する前にCDウォークマンを停止または再生一時停止にすると、その曲の曲名はMDに記録されません。
- * 日本国内でのみ、お買い求めになれます。海外では、D-EJ01(ジョイントテキスト機能対応)をお買い求めください。




▶いろいろな再生のしかた

くりかえし聞く

(リピート再生)

(英文取扱説明書23ページのイラスト参照)

- 1 再生中または停止中にジョグレバーを押し、動かして「PLAY MODE」を点滅させ、もう一度押す。
- 2 ジョグレバーを動かして選択したい再生モードを点滅させ、押す。ジョグレバーを動かすたびに、表示が変わり、表示の点滅中にジョグレバーを押すと表示が点灯し、選択された再生状態になります。

表示	再生状態
No Repeat / -	通常の再生
AllRepeat / 	ディスク全曲をくり返し再生
1 Repeat /  1	再生中の曲をくり返し再生
Shuffle /  SHUF	全曲を順不同に並びかえて再生し、さらにくり返し並びかえて再生

お手持ちのシステムで聞く (LINE OUT)

(英文取扱説明書28ページのイラスト参照)

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136をΩ/LINE OUTジャックにつなぎます。出力はアナログです。本機はデジタル方式で再生しますが、つないだ機器にはアナログ信号で送られます。

本機のΩ/LINE OUTジャックに別売りの接続コードをつないでから次の操作を行って、Ω/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定をする必要があります。

- 1 ジョグレバーを押し、動かして「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度押す。
- 2 ジョグレバーを動かして、「LINE OUT」を点滅させ、ジョグレバーを押す。

ご注意

- Ω/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定が「LINE OUT」になっていると、ボリュームやメガベースは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、Ω/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定を「LINE OUT」にすることができません。
- 電源が切れると、Ω/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定は自動的に「HeadPhone」になります。

▶編集する

ミニディスクに頭出しマーク(曲番)をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

ご注意


- ・「TOC Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜いたりしないでください。
- ・誤消去防止つまみが開いているディスクでは、編集できません。つまみをもとに戻してください。
- ・再生中に編集を行った後は、停止させてから「TOC Edit」表示が数秒点滅して消えるまで、電源を抜いたりしないでください。
- ・編集を行った後、「TOC Edit」表示が消えるまでは、ふたは開きません。


曲を消す

(英文取扱説明書29ページのイラスト参照)

1曲を消す

一度消した曲はもとに戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

- 1 消したい曲の再生中に、ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
「: Name」が点滅し、1曲1ビート再生になります。

- 2 ジョグレバーを動かして「: Erase」を点滅させ、ジョグレバーを押す。
表示窓に「ERASE OK?」と「PushENTER」が交互に表示されます。消すのを中止するときは、
■ボタンまたはT MARKボタンを押します。



- 3 表示窓で曲番を確認し、もう一度ジョグレバーを押す。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて、その部分を消します。

全曲を消す

ディスク上のすべての曲を消します。一度消したディスクはもとに戻すことはできません。必ずディスクの内容を確認しておいてください。

- 1 停止中に、ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
「: Name」が点滅します。
- 2 ジョグレバーを動かして、「: Erase」を点滅させ、ジョグレバーを押す。
表示窓に「All Erase?」と「PushENTER」が交互に表示されます。消すのを中止するときは、
■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

- 3 ジョグレバーをもう一度押す。
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が
消去されます。消去が終わると
「BLANKDISC」と表示されます。

頭出しマーク（曲番） をつける

（英文取扱説明書30ページのイラスト参照）

曲の途中に頭出しマークをつけて、そこ
から後ろを次の曲にすることができます。

- 1 再生中または再生一時停止中に、
マークをつけたい位置でT MARK
ボタンを押す。
「MARK ON」が表示され、曲番が
1つ増えます。そこから次の曲とし
て記録されます。

録音中にマークをつけることもできます
録音中（シンクロ録音を除く）にT
MARKボタンを押してください。

頭出しマーク（曲番） を消す

（英文取扱説明書31ページのイラスト参照）

アナログ入力(LINE IN)やマイク入力
で録音したときは、静かな音が続く部分
などに不要な頭出しマークがつくことが
あります。その場合は、頭出しマークを
消すと、前後の曲を1つの曲にまとめる
ことができます。

- 1 曲番を消したい曲の再生中に■ボ
タンを押して一時停止にする。
2 ◀◀ ボタンを短く押して、曲の先
頭(00:00)にする。
3 T MARKボタンを押す。
「MARK OFF」が表示され、指定し
た曲が前の曲につながります。

曲順を変える（ムーブ）

曲を移動して、曲順を変更できます。







本体で操作する

（英文取扱説明書31ページのイラスト参照）

- 1 移動したい曲の再生中に、ジョグ
レバーを押して「Edit」を点滅さ
せ、もう一度押す。
「♪：Name」が点滅し、1曲リ
ピート再生になります。
2 ジョグレバーを動かして「♪：
Move」を点滅させ押す。
3 ジョグレバーを動かして移動先の
曲番を指定する。
途中で中止するときは■ボタンま
たはT MARKボタンを押します。
4 ジョグレバーを押す。
指定した曲の前に移動したい曲が
移ります。

リモコンで操作する

(英文取扱説明書32ページのイラスト参照)

- 1 移動したい曲の再生中に、DISPLAYボタンを2秒以上押したままにする。
「: Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。
- 2 つまみをまたは側に押し、表示窓に「: Move」を表示させる。
- 3 ■ボタンを押す。
- 4 つまみをまたは側に押し、移動先の曲番を指定する。
途中で中止するときはDISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。
- 5 ■ボタンを押す。
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。


曲名やディスク名をつける







再生中は曲名、停止中はディスク名、録音中は曲名・ディスク名をつけることができます。曲名やディスク名は、それぞれ200文字までつけることができます。1枚のディスクには、再生・停止中に英数字/記号で約1700文字、カナ文字のみで約800文字入力できます。

本体で操作する

(英文取扱説明書32ページのイラスト参照)

停止中にディスク名を入力する

- 1 ディスクを入れる。
- 2 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
「: Name」が点滅します。
- 3 ジョグレバーを押す。
- 4 ジョグレバーを動かして文字を選び、押して確定する。
確定すると、選んだ文字が点灯に変わり、次の文字位置でカーソルが点滅します。
ジョグレバーの他に使えるボタンと機能は以下のとおりです。

ボタン	機能
	アルファベット 記号と数字 よく使う言葉*の順に切り替わる。
VOL +/-	文字カーソルを左右に移動する。
 / 	アルファベットや記号・数字入力時は  を押すと、1文字ずつ変わる。  を押すと戻る。カタカナ入力時に  /  を2秒以上押すと「ア」↔「カ」↔「サ」↔「タ」のように文字が選べる。
END SEARCH/ VOL +	同時に押して記入位置に空白を挿入し、1文字分の文字を追加できる。
END SEARCH/ VOL -	同時に押して記入位置の文字を削除し、以降の文字を1文字ずつつめる。
■	タイトルをつけるのを中止する。
T MARK	タイトルをつけるのを中止する。

* よく使う言葉が登録されていると(ネームバンク機能) 一番最初に登録された言葉が表示されます(25ページ)。

- 手順4を繰り返して名前をつける。
途中で中止するときは■ボタンまたはT MARKボタンを押します。
- ジョグレバーを2秒以上押したままにする。
曲名またはディスク名がつかます。

再生中に曲名を入力する

- ディスクを入れて曲名をつけた曲を再生する。
- ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
「♪: Name」が点滅します。
- ジョグレバーを押す。
- 「停止中にディスク名を入力する」(22、このページ)の手順4から6と同様の操作をする。

録音中に曲名・ディスク名を入力する

- ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
「♪: Name」が点滅します。
- ・ 曲名を入力するにはジョグレバーを押す。
・ ディスク名を入力するにはジョグレバーを動かして「☉: Name」を点滅させ、押す。
- 「停止中にディスク名を入力する」(22、このページ)の手順4から6と同様の操作をする。

止めるには、■ボタンまたはT MARKボタンを押す。

ご注意

録音中に曲名・ディスク名を入力しているときに録音が終了したときや、曲名入力をしているときに次の曲が始まったときは、その時点の入力が自動的に確定します。

リモコンで操作する

(英文取扱説明書34ページのイラスト参照)

停止中にディスク名を入力する

- ディスクを入れる。
- DISPLAYボタンを2秒以上押す。
「☉: Name」が点滅します。
- ボタンを押す。
ディスク名の入力準備状態になります。
- つまみを◀◀または▶▶側を押して、文字を選び、■ボタンを押して確定する。
確定すると、選んだ文字が点灯に変わり、次の文字位置でカーソルが点滅します。

ボタン	機能
	アルファベット 記号と数字 よく使う言葉*の順に切り替わる。
VOL +/-	文字カーソルを左右に移動する。
◀◀/▶▶	アルファベットや記号・数字入力時はつまみを▶▶側を押すと1文字ずつ変わる。◀◀側を押すと戻る。カタカナ入力時につまみを◀◀/▶▶側につき2秒以上押すと、「ア」↔「カ」↔「サ」↔「タ」の順に文字が選べる。

DISPLAY	2秒以内で押すと、記入位置に空白を挿入し、一文字分の文字を追加できる。 2秒以上押し続けると、ディスク名入力操作を中止する。
---------	-------------------------------------------------------------------

PLAY MODE	記入位置の文字を削除し、以降の文字を1文字ずつつめる。
-----------	-----------------------------

* よく使う言葉が登録されていると(ネームバンク機能)、一番最初に登録された言葉が表示されます(25ページ)。

- 手順4を繰り返して名前をつける。
途中で中止するときは、DISPLAYボタンを2秒以上押しただまにします。
- ボタンを2秒以上押しただまにする。
曲名またはディスク名がつかます。

再生中に曲名を入力する

- ディスクを入れて曲名をつけた曲を再生する。
- DISPLAYボタンを2秒以上押す。
「♪: Name」が点滅します。
- ボタンを押す。
ディスク名の入力準備状態になります。
- 「停止中にディスク名を入力する」(23、このページ)の手順4から6と同様の操作をする。

録音中に曲名・ディスク名を入力する

- 録音中にDISPLAYボタンを2秒以上押す。
「♪: Name」が点滅します。
- ・曲名を入力するには、■ボタンを押す。
・ディスク名を入力するにはつまみを◀◀側または▶▶側を押して「🎵: Name」を点滅させ、■ボタンを押します。
- 「停止中にディスク名を入力する」(23、このページ)の手順4から6と同様の操作をする。

ご注意

録音中に曲名・ディスク名を入力しているときに録音が終了したときや、曲名入力しているときに次の曲が始まったときは、その時点の入力が自動的に確定します。

止めるには、DISPLAYボタンを2秒以上押しただまにする。

入力できる文字

- アルファベットA~Zの大文字、小文字
- 数字0~9
- 記号 ! " # \$ % & () * . ; < = > ? @ _ ` + - ' , / :
_(スペース)

名前を変えるには

手順1から3を行って、変更したい曲名またはディスク名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、ジョグレバー(リモコンでは■ボタン)を2秒以上押します。

ご注意

- 市販のソフトや録音していないディスクに、曲名やディスク名をつけたり、書き換えをすることはできません。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やディスク名を、本機で書き換えることはできません。

よく使う言葉を登録する (ネームバンク機能)

曲名・ディスク名によく使う言葉を本体内に登録することができます。タイトルを入力中に、登録した言葉を呼び出すことによって、曲名・ディスク名の入力を簡単に行うことができます。登録のしかたには、入力中の言葉をそのまま登録するやりかたと、EDITメニューで登録するやりかたの二通りがあります。10文字程度の文字数の言葉であれば、約40種類登録できます(最大約600文字)。登録する言葉の文字数の合計によって、登録できる言葉の数は異なります。

本体で操作する

(英文取扱説明書35ページのイラスト参照)

入力中の言葉を登録する

- 1 「曲名やディスク名をつける」(22ページ)の手順を行って名前をつける。
- 2 登録したい言葉を入力したら、**II** ボタンを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。登録後は、そのまま名前をつける操作を続けることもできます。



EDITメニューで登録する

- 1 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
- 2 ジョグレバーを動かして「Name Bank」を点滅させ、押す。
- 3 登録したい言葉を入力し、ジョグレバーを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、入力した言葉が登録されます。

登録した言葉を呼び出す

曲名・ディスク名を入力中に、登録された言葉を呼び出すことができます。呼び出しかたには、登録済みの言葉を表示して探すやりかたと、先頭の1文字で検索するやりかたの二通りがあります。

登録済みの言葉を表示して探す

- 1 「曲名やディスク名をつける」の手順を行い、「 : Name」または「 : Name」を点滅させ、ジョグレバーを押す。
曲名またはディスク名の入力準備状態になります。
- 2 **II** ボタンを繰り返し押しして最初に登録した言葉を表示させる。
- 3 ジョグレバーを動かすか、または **II** ボタンを繰り返し押しす。
ジョグレバーを動かしたり、ボタンを押すたびに、登録済みの言葉が順に1つずつ表示されます。**II** ボタンを押すと、最初に登録された言葉が表示されます。

- 4 入力したい言葉を選び、ジョグレバーを押す。
選んだ言葉が確定します。

先頭の文字で検索する

- 1 曲名・ディスク名の入力中にVOL +/- ボタンを使って、呼び出した言葉の最初の1文字にカーソルを置く。
- 2 **⇐**ボタンを押して検索する。該当する言葉が表示されます。該当する言葉が複数ある場合は、**⇐**ボタンを押すと次の言葉が表示されます。
- 3 入力したい言葉を選び、ジョグレバーを押す。
選んだ言葉が確定します。

登録した言葉を削除する

停止中に行います。MDが入っていない、または未録音のMDが入っている場合でも削除できます。

- 1 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
- 2 ジョグレバーを動かして「BankErase」を点滅させ、押す。
- 3 ジョグレバーを動かして削除したい言葉を選び、押す。
「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。
言葉が登録されていない場合は、「EMPTY」と表示されます。

途中でやめるときは

- ボタンまたはT MARKボタンを押します。

リモコンで操作する

(英文取扱説明書37ページのイラスト参照)

入力中の言葉を登録する



- 1 「曲名やディスク名をつける」の「リモコンで操作する」(23ページ)の手順を行って名前をつける。
- 2 登録したい言葉を入力したら、**⇐**ボタンを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。登録後は、そのまま名前をつける操作を続けることもできます。

EDITメニューで登録する

- 1 DISPLAYボタンを2秒間押したままにする。
- 2 つまみを**◀◀**または**▶▶**側に押し、「Name Bank」を点滅させ、**■**ボタンを押す。
- 3 登録したい言葉を入力し、**■**ボタンを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、入力した言葉が登録されます。

登録した言葉を呼び出す

登録済みの言葉を表示して探す

- 1 「曲名やディスク名をつける」の手順を行い、「: Name」または「: Name」を点滅させ、ジョグレバーを押す。
曲名またはディスク名の入力準備状態になります。

- 2 **II** ボタンを繰り返し押し、最初に登録した言葉を表示させる。
- 3 つまみを◀◀または▶▶側に繰り返し押す。
つまみを◀◀または▶▶側に押すたびに、登録済みの言葉が順に1つずつ表示されます。**II** ボタンを押すと、最初に登録された言葉が表示されます。
- 4 入力したい言葉を選び、**■** ボタンを押す。
選んだ言葉が確定します。

途中でやめるときは
DISPLAY ボタンを2秒以上押し続けます。

先頭の文字で検索する

- 1 曲名・ディスク名の入力中にVOL +/- ボタンを使って、呼び出したい言葉の最初の1文字にカーソルを置く。
- 2 **II** ボタンを押して検索する。
該当する言葉が表示されます。該当する言葉が複数ある場合は、**II** ボタンを押すと次の言葉が表示されず。
- 3 入力したい言葉を選び、ジョグレバーを押す。
選んだ言葉が確定します。

登録した言葉を削除する

- 1 DISPLAY ボタンを2秒間押す。
- 2 つまみを◀◀または▶▶側に繰り返し押し、「BankErase」を点滅させ、**■** ボタンを押す。
- 3 つまみを◀◀または▶▶側に繰り返し押し、削除したい言葉を選び、**■** ボタンを押す。
「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。
言葉が登録されていない場合は、「EMPTY」と表示されます。

▶電源について

家庭用電源(コンセント)以外に本機で使える電源は、以下の通りです。

本体に入れて...

- 充電式ニッケル水素電池NH-14WM

バッテリーケースを使って...

- 単3形アルカリ乾電池1本

録音などで長時間お使いになるときは、家庭用電源(コンセント)につなぐことをおすすめします。

ニッケル水素電池で使う

付属の充電式ニッケル水素電池を、お使いになる前に必ず充電してください。

充電する

(英文取扱説明書39ページのイラスト参照)

- 1 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 本体に充電式ニッケル水素電池(付属)を入れる。
- 3 ■/CHARGEボタンを押す。
「Charging」が点滅し、□の表示が出て、充電が始まります。表示が消えたら充電完了です。
充電時間は、放電しきった状態から十分に充電するまでに約3時間かかります。充電の途中で中止したいときは■/CHARGEボタンを押します。

- 4 ACパワーアダプターをはずす。
つないでいると、コンセントからの電源になります。

ご注意

- 充電が終了し、液晶表示が消えた後すぐに■/CHARGEボタンを押すと、再び充電が始まりますが、異常ではありません。充電は完了しています。
- 充電中に他の操作を行うと、充電は解除されます。
- 充電には必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかったあとでは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電をくり返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を十分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電式電池を持ち運ぶときは付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットやバッグなどに入れると、電池の+と-がショートして危険です。
- 長い間使用しないときは、充電式電池を本体から取り出しておいてください。

ニッケル水素電池で使う

(英文取扱説明書40ページのイラスト参照)

お使いになる前に必ず充電しておいてください。

- 1 充電したニッケル水素電池を+-を正しく入れる。

乾電池で使う

(英文取扱説明書40ページのイラスト参照)

付属の外付けバッテリーケースを使いません。

- 1 バッテリーケースを取り付ける。
- 2 乾電池を入れる。
電池の持続時間は再生時約10時間、録音時は使用する電池の種類によって異なります。

ご注意

電池を交換するときは、いったん停止させてから交換してください。

各電池の持続時間

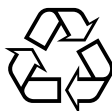
長時間録音するときは、家庭用電源(コンセント)につないで使うことをおすすめします。

	録音時	再生時
充電式ニッケル水素電池 (NH-14WM)	約6.5時間	約12時間
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG) 1本	約4時間	約16.5時間
充電式ニッケル水素電池 (NH-14WM) +ソニーアルカリ乾電池LR6(SG) 1本	約14.5時間	約29時間

電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓に□が点滅したり、または「LOW BATT」が表示されます。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況により増減します。

国内での充電式電池の処理について



Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先:
社団法人電池工業会
TEL: 03-3434-0261
ホームページ: <http://www.baj.or.jp>

海外での充電式電池の処理について

各国での法規制にしたがって破棄してください。

▶その他

メッセージ一覧

表示窓にエラー表示が出たら、チェックしてみてください。

エラー表示	意味 / 対策
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている(再生・編集時)。他のディスクと取り換える。
DISC ERR	損傷しているディスク、録音や編集の内容などの情報が入っていないディスクが入っている。ディスクを入れなおす。録音しなおす。
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒以下である(録音時)。他の録音用ディスクと取り換える。
Data Save	録音した情報(音声)をメモリーからディスクに記録している。しばらく待つ(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
TOC Edit	録音した情報(曲の開始・終了位置など)をメモリーからディスクに記録している。しばらく待つ(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。しばらく待つ。まれに、1分ほどかかる場合があります。

エラー表示	意味 / 対策
NAME FULL	曲名やディスク名を200文字を超えて入力しようとした。再生・停止中に曲名やディスク名を1700文字を超えて入力しようとした。文字数の制限内で入力する。
Hi DC in	電源電圧が高い(指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない)。指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。HOLDスイッチを矢印と逆方向にしてホールド機能を解除する。
LOW BATT	電池が消耗した。充電電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。振動のないところで録音をし直す。
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)によりダビングは禁止されている。アナログ入力(LINE IN)を使って録音する。
NO DISC	ディスクが入っていない。ディスクを入れる。
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。光デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力(LINE IN)するときは無視する。

エラー表示	意味 / 対策
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている(録音・編集時) 録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている。誤消去防止つまみを戻す。
SORRY	<p>⌂/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定が「LINE OUT」になっている状態で、デジタルメガベースを設定しようとした。ジョグレバーを使って⌂/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定を「HeadPhone」にする。</p> <p>ディスクの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。 種類の異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした(例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の頭出しマークを消そうとした)。 シンクロ録音中またはCDテキストの情報を記録しながらの録音中に■ボタンまたはT MARKボタンを押した。</p>
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。 涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TR FULL	曲数が254を越えた。曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト(曲の誤消去防止)がかかっている曲に録音・編集をしようとした。他の曲で録音・編集する。

エラー表示	意味 / 対策
EDITING	リモコンで編集中に本体キーのどれかを押した。または本体で編集中にリモコンキーのどれかを押した。
LINE OUT	⌂/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定が「LINE OUT」になっている状態で、VOL +/- ボタンを押した。ジョグレバーを使って、⌂/LINE OUT出力(「AUDIO OUT」)の設定を「HeadPhone」にする。
NO TEXT	ジョイントテキスト機能を使おうとしたとき、録音もとのCDに曲名またはディスク名が入っていない。
EMPTY	ネームバンクに文字が登録されていないのに、削除しようとした。
BANK FULL	ネームバンクに登録されている文字が約600文字を超えた。登録数を減らして入力しなおす。

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

Printed on recycled paper

Sony Corporation Printed in Japan

